

FOBAS クラウドストレージキャッシュ[®]

WebDAV クライアント

設定マニュアル

(Windows 版)

2.4.6 (Build.20140217)

FOBAS[®]

1.	はじめに.....	3
1-1.	このドキュメントの対象者	3
1-2.	ご利用の前提条件.....	3
1-3.	必要な OS パッチ	3
2.	インストールおよび設定手順.....	4
2-1.	設定手順 (Windows XP の場合)	4
2-2.	設定手順 (Windows Vista の場合)	9
2-3.	設定手順 (Windows 7 の場合)	12
2-4.	設定手順 (Windows 8 の場合)	15
3.	トラブルシューティング	18
3-1.	接続時のトラブル.....	18
3-1-1.	SSL 接続の確認.....	18
3-1-2.	HTTP プロキシ設定の確認	18
3-1-3.	FOBAS CSC サーバ名前解決の確認.....	19
3-1-4.	OS Patch 適用の確認 (WindowsXP、Windows Vista の場合)	20
3-1-5.	Web Client サービス起動の確認 (Windows Vista、Windows7 の場合)	21
3-1-6.	同一端末から複数のアカウントを利用する場合の注意点	23
4-1.	ファイルコピー時のトラブル	24
4-1-1.	Service Pack の適用	24
4-2.	WebDAV ログイン認証時のトラブル	25
4-1-2.	正しい認証情報を入力してもログインできない場合	25

1. はじめに

1-1. このドキュメントの対象者

このドキュメントは、FOBAS クラウドストレージキャッシュ[®] を、WebDAV インタフェースを通じてご利用いただくための環境設定手順を記載したものです。

1-2. ご利用の前提条件

このドキュメント は以下のオペレーションシステムでのご利用を前提としています。

- Windows XP (Service Pack3)
- Windows Vista (Service Pack2 以降)
- Windows 7
- Windows8

1-3. 必要な OS パッチ

Windows XP および Windows Vista 環境から、WebDAV 経由で FOBAS CSC をご利用いただく場合は、Microsoft 社が提供する以下の OS パッチを**必ず適用**してください。適用方法、手順については以下の Microsoft 社の Web サイトを参考にしてください。

Microsoft KB907306

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=17c36612-632e-4c04-9382-987622ed1d64&displaylang=ja>

2. インストールおよび設定手順

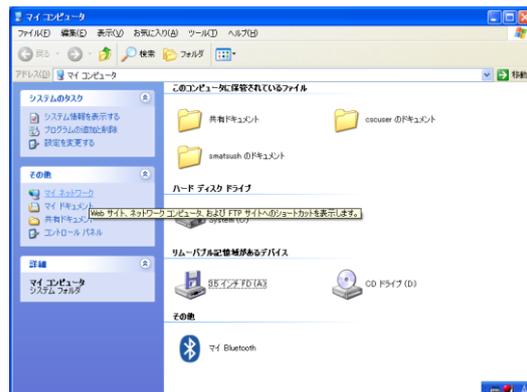
2-1. 設定手順 (Windows XP の場合)

Windows XP では、Web フォルダはネットワークプレースと呼ばれています。ネットワークプレースの追加ウィザードを使用して、新規ネットワークプレースを作成します。

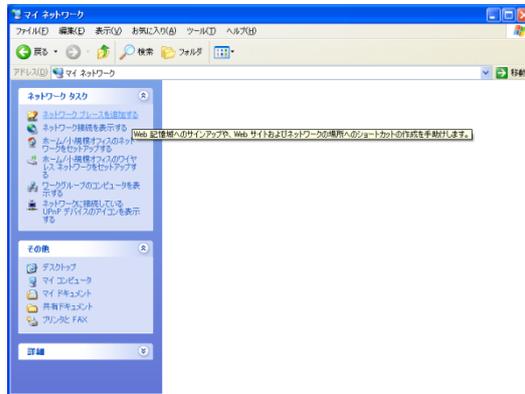
1. [スタート] メニューから、[マイコンピュータ] をクリックします。



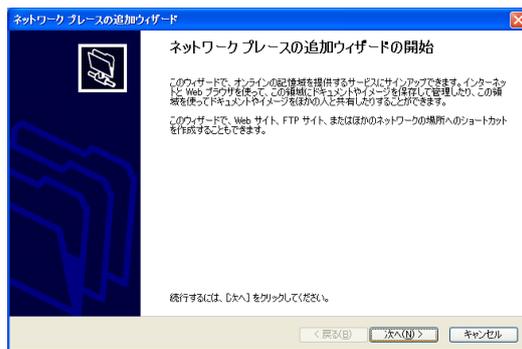
2. [その他] にある [マイネットワーク] をクリックします。



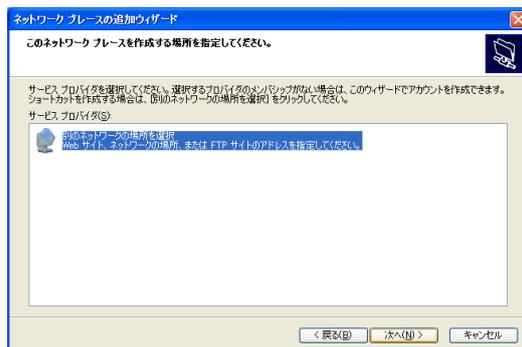
3. [ネットワークプレースを追加する] をクリックします。



4. ネットワークプレースの追加ウィザードが起動します。
[次へ] をクリックします。

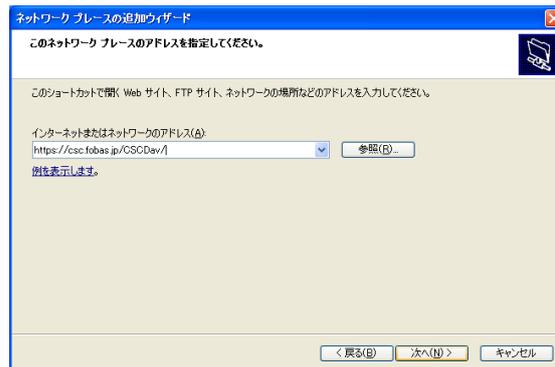


5. [別のネットワークの場所を選択] を選択して、[次へ] をクリックします。



6. 以下のネットワークアドレスを入力してから、[次へ] をクリックします。

SaaS 版をお使いの方は、購入元から指示のあったサーバ名を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示のあったサーバ名を設定します。（画面例では csc.fobas.jp となっています。）



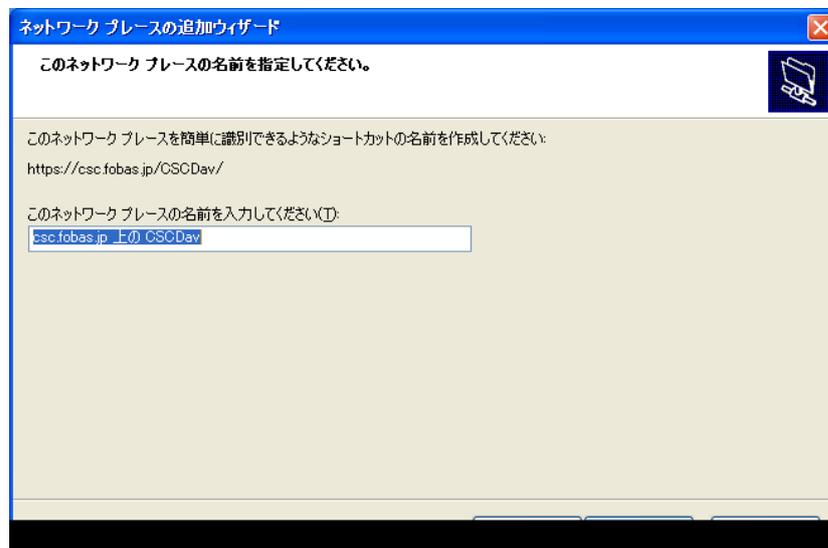
7. サイトへのログインを求めるダイアログボックスが表示されます。

ユーザー名には、SaaS 版をお使いの方は、購入元から連絡があったユーザ ID を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示があったユーザ ID を入力します。

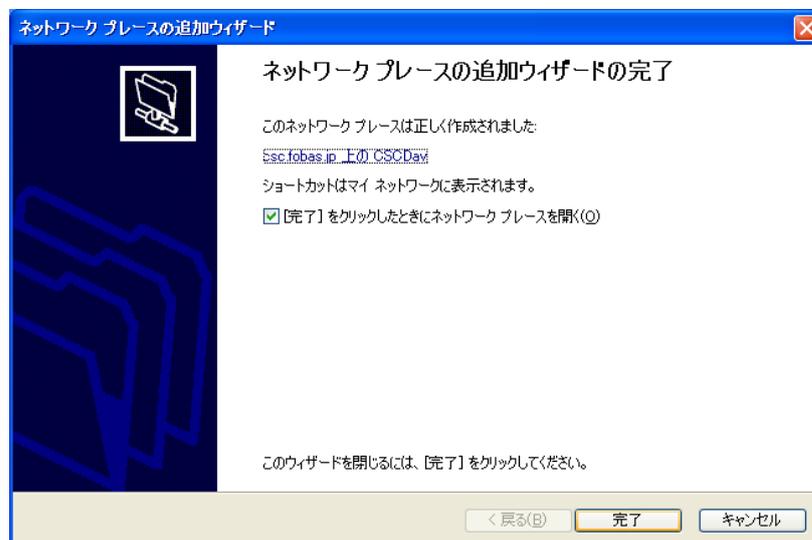
パスワードには、FOBAS CSC 管理画面で設定した WebDAV パスワードを入力して、[OK] をクリックします。



8. ネットワーク プレースの名前を入力します。任意の名前をつけてください。
[次へ] をクリックします。



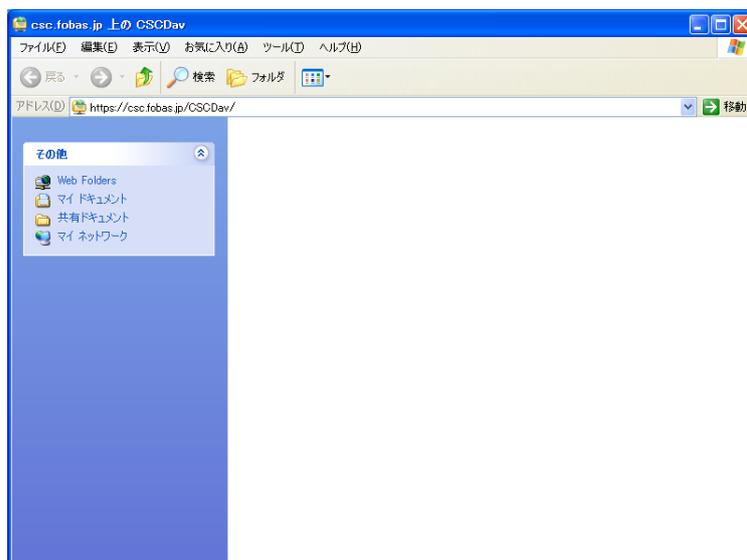
9. ネットワーク プレースの追加ウィザードが完了しました。
[完了] をクリックします。



10. 場合によっては、再度ユーザー名とパスワードの確認があります。
手順7と同じ、ユーザ ID とパスワードを入力します。
[OK] をクリックします。



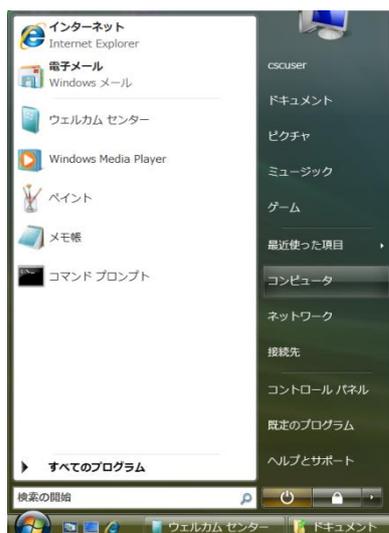
11. Web フォルダが追加されました。
通常のフォルダと同様におつかいいただけます。



2-2. 設定手順 (Windows Vista の場合)

Windows Vista では、FOBAS CSC はネットワークドライブとして利用できます。コンピュータ・メニューの [ネットワークドライブの割り当て] から設定できます。[ネットワークドライブの割り当て] ウィンドウは以下の手順で起動します。

1. スタートアイコンからメニューを開き、[コンピュータ] をクリックします。



2. メニューから [ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。

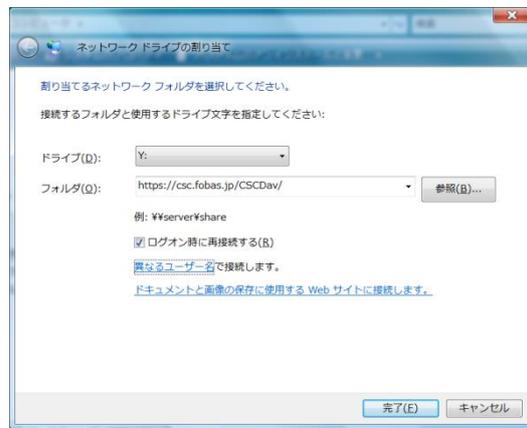


3. 以下の内容を設定します。

フォルダ名には、SaaS 版をお使いの方は、購入元から指示のあったサーバ名を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示のあったサーバ名を設定します。(画面例では csc.fobas.jp となっています。)

ドライブ	フォルダ
任意のドライブ文字	https://<FOBAS CSC のサーバ名>/CSCDav/

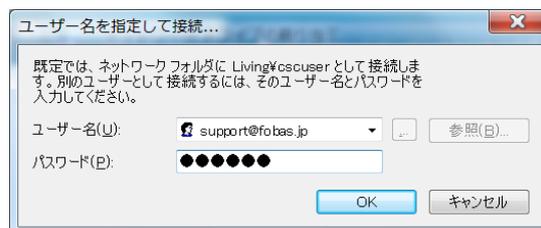
[異なるユーザー名] で接続します。のリンクをクリックします。



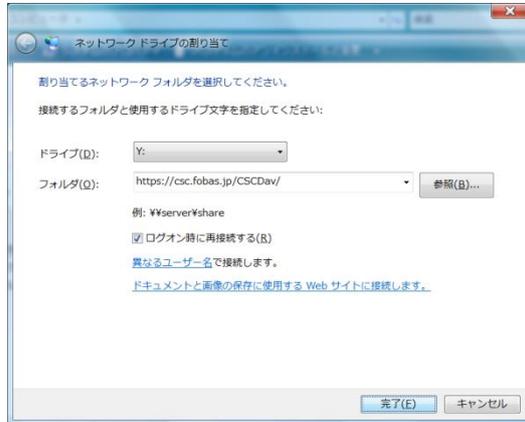
4. ユーザー名とパスワードを求めるダイアログボックスが表示されます。

ユーザー名には、SaaS 版をお使いの方は、購入元から連絡があったユーザ ID を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示があったユーザ ID を入力します。

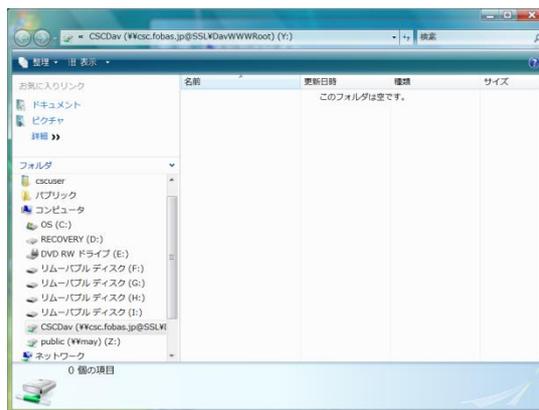
パスワードには、FOBAS CSC 管理画面で設定した WebDAV パスワードを入力して、[OK] をクリックします。



5. [完了] をクリックします。



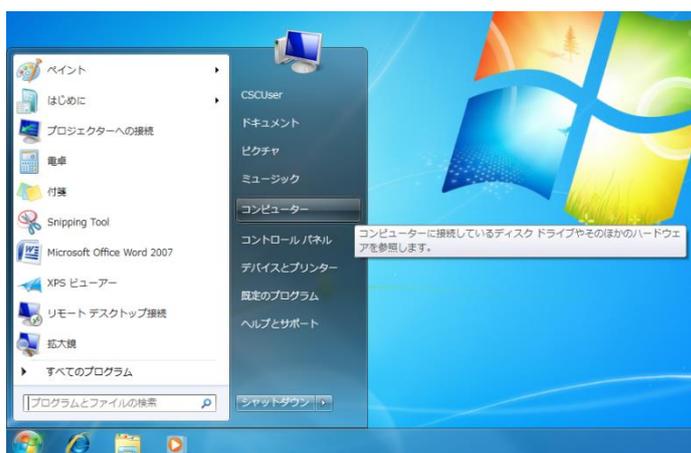
6. 設定したドライブ文字から、通常のディスクドライブと同様におつかいいただけます。



2-3. 設定手順 (Windows 7 の場合)

Windows 7 では、FOBAS CSC はネットワークドライブとして利用できます。コンピュータ・メニューの [ネットワークドライブの割り当て] から設定できます。[ネットワークドライブの割り当て] ウィンドは以下の手順で起動します。

1. スタートアイコンからメニューを開き、[コンピュータ] をクリックします。



2. メニューから [ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。

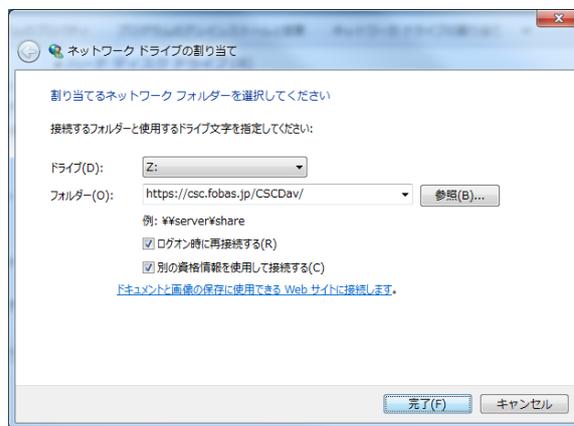


3. 以下の内容を設定します。

フォルダ名には、SaaS 版をお使いの方は、購入元から指示のあったサーバ名を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示のあったサーバ名を設定します。(画面例では csc.fobas.jp となっています。)

ドライブ	フォルダ
任意のドライブ文字	https://<FOBAS CSC のサーバ名>/CSCDav/

[別の資格情報を仕様して接続する] のチェックボックスをチェックして、[完了] をクリックします。



4. ユーザー名とパスワードを求めるダイアログボックスが表示されます。

ユーザー名には、SaaS 版をお使いの方は、購入元から連絡があったユーザ ID を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示があったユーザ ID を入力します。

パスワードには、FOBAS CSC 管理画面で設定した WebDAV パスワードを入力して、[OK] をクリックします。



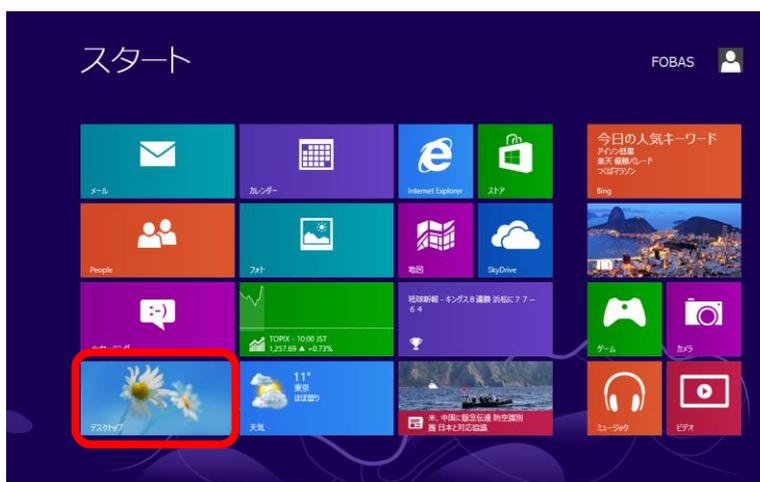
5. 設定したドライブ文字から、通常のディスクドライブと同様におつかいいただけます。



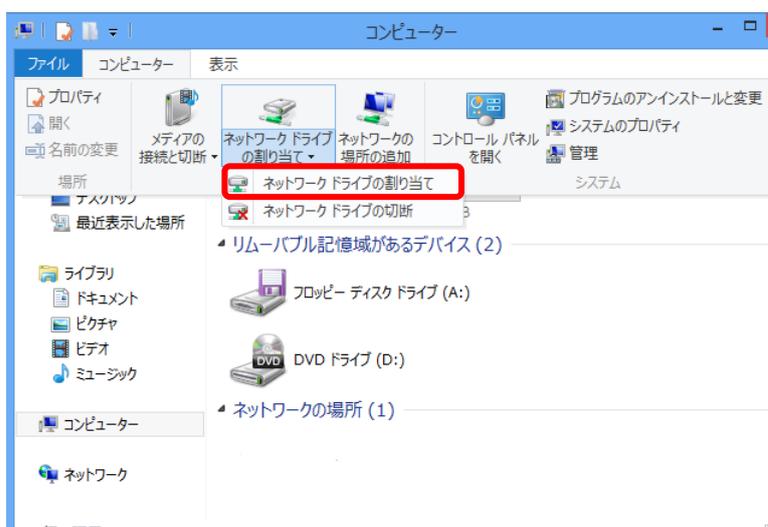
2-4. 設定手順 (Windows 8の場合)

Windows 8 では、FOBAS CSC はネットワークドライブとして利用できます。エクスプローラの [ネットワークドライブの割り当て] から設定できます。[ネットワークドライブの割り当て] ウィンドは以下の手順で起動します。

1. スタート画面から [デスクトップ] をクリックします。



2. エクスプローラを開き、左ツリーの [コンピュータ] をクリックします。
メニュー から [コンピュータ] → [ネットワーク ドライブの割り当て] → [ネットワーク ドライブの割り当て] を選択します。

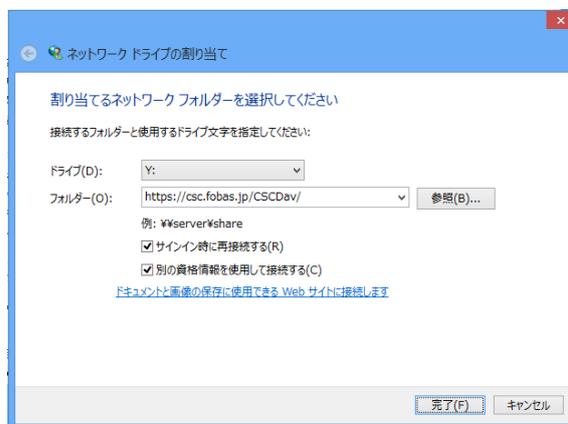


3. 以下の内容を設定します。

フォルダ名には、SaaS 版をお使いの方は、購入元から指示のあったサーバ名を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示のあったサーバ名を設定します。(画面例では csc.fobas.jp となっています。)

ドライブ	フォルダ
任意のドライブ文字	https://<FOBAS CSC のサーバ名>/CSCDav/

[別の資格情報を仕様して接続する] のチェックボックスをチェックして、[完了] をクリックします。



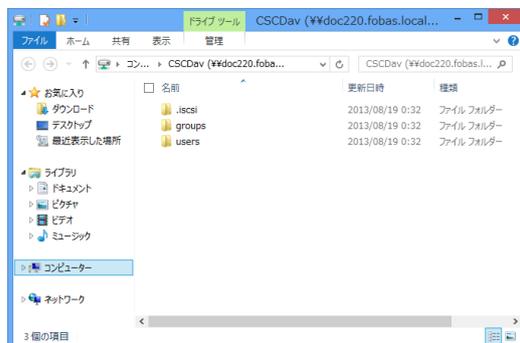
4. ユーザー名とパスワードを求めるダイアログボックスが表示されます。

ユーザー名には、SaaS 版をお使いの方は、購入元から連絡があったユーザ ID を、オンプレミスでお使いの方は、サーバ管理者から指示があったユーザ ID を入力します。

パスワードには、FOBAS CSC 管理画面で設定した WebDAV パスワードを入力して、[OK] をクリックします。



5. 設定したドライブ文字から、通常のディスクドライブと同様におつかいいただけます。



3. トラブルシューティング

この章では、WebDAV による接続が正しく動作しない場合に、問題の切り分けを行う手順を記載します。

3-1. 接続時のトラブル

3-1-1. SSL 接続の確認

問題が発生している端末から、SSL で FOBAS CSC サーバに接続可能か確認します。これにより、SSL サーバ証明書の設定、ルート証明書の設定、および HTTP プロキシの設定が正しく行われているかが確認できます。

Internet Explorer から、

https://<FOBAS CSC のサーバ名 (FQDN) >/CSCWeb/

に接続でき、ユーザ ID、パスワードでログイン可能か確認します。

- 問題無く接続可能な場合 => 3-1-4. 3-1-5. へ
- SSL 証明書関連のワーニングが出るが、接続ができる場合 => 対策 A へ
- ユーザ ID の認証エラーでログインできない場合 => 対策 B へ
- ログイン画面の表示含め、まったく接続できない場合 => 切り分け手順 3-1-2. 3-1-3. へ

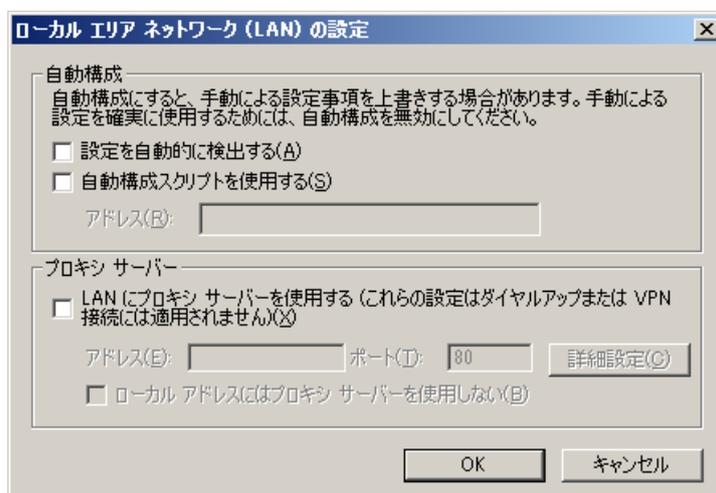
3-1-2. HTTP プロキシ設定の確認

Internet Explorer の ツール => インターネットオプション

メニューから、「接続」タブ、「LAN の設定」をクリックします。



「設定を自動的に検出する」のチェックを外します。



プロキシを利用する場合は、自動構成スクリプトあるいはプロキシサーバを明示的に指定します。

3-1-3. FOBAS CSC サーバ名前解決の確認

※ HTTP プロキシを利用する場合、プロキシサーバで名前解決ができていれば良いので、この結果で解決できていない場合でも必ずしも問題である訳ではありません。

問題が発生している端末でコマンドプロンプトから以下のコマンドを実行します。

> nslookup [FOBAS CSC のサーバ名]

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\>nslookup demo.fobas.jp
*** Can't find server name for address 192.168.0.41: Non-existent domain
Server: web.setup
Address: 192.168.0.1

Non-authoritative answer:
Name: demo.fobas.jp
Address: 180.37.182.252

C:\>
```

指定したホスト・ドメイン名または IP アドレスが表示されていることを確認します。

- 名前解決できていない場合 => お使いの端末の DNS 設定あるいは貴社内の DNS サーバに起因していますので、貴社のネットワーク管理者に正しい設定内容をご確認ください。

```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\>nslookup hoge.fobas.jp
*** Can't find server name for address 192.168.0.41: Non-existent domain
Server: web.setup
Address: 192.168.0.1

*** web.setup can't find hoge.fobas.jp: Non-existent domain

C:\>
```

3-1-4. OS Patch 適用の確認 (WindowsXP、Windows Vista の場合)

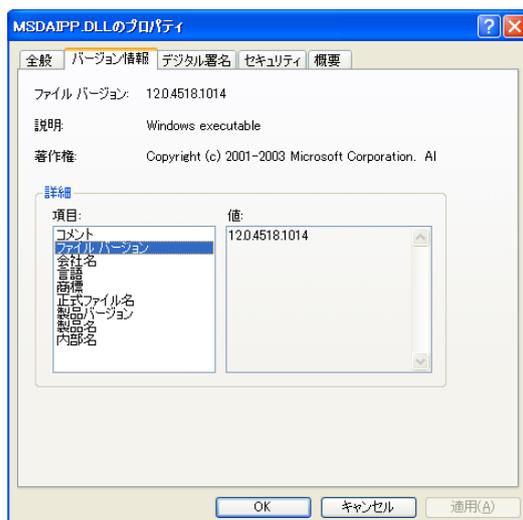
OS の Patch KB907306 が適用されているか確認します。

[スタート] => [検索] で **Msdaiip.dll** というファイル名を検索します。

ファイル名	バージョン	サイズ	日付	時間
Msdaiip.dll	12.0.4518.1014	1,011,488	2006年10月27日	00:49

ファイルのプロパティから [バージョン情報] タブ を選択し、項目 [フィルバージョン]が上表より古くないことを確認します。

ファイルが存在しない場合は、Patch KB907306 が適用されていないので適用してください。



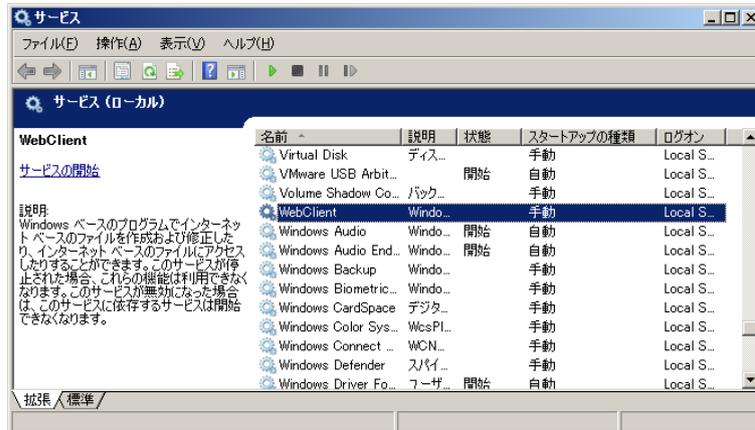
[全般] タブを選択し、サイズ、日付時間が上表より古くないことを確認します。



3-1-5. Web Client サービス起動の確認 (Windows Vista、Windows7 の場合)

1. WebClient サービスの起動を確認します。

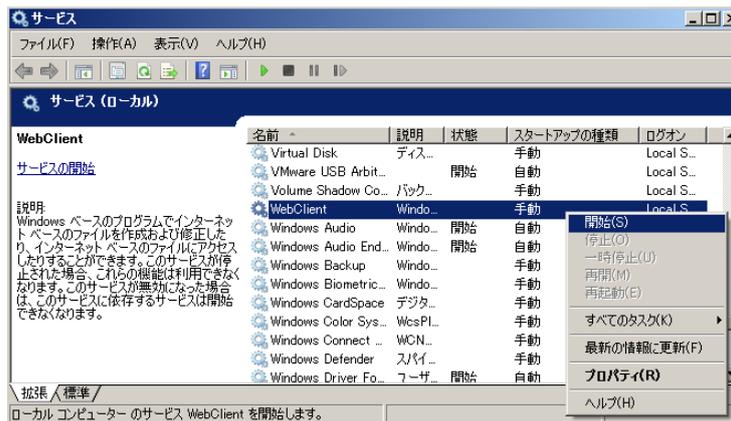
「コントロールパネル」 => 「システムとセキュリティ」 => 「管理ツール」 => 「サービス」



- WebClient サービスの状態を確認し、起動していなければ起動します。

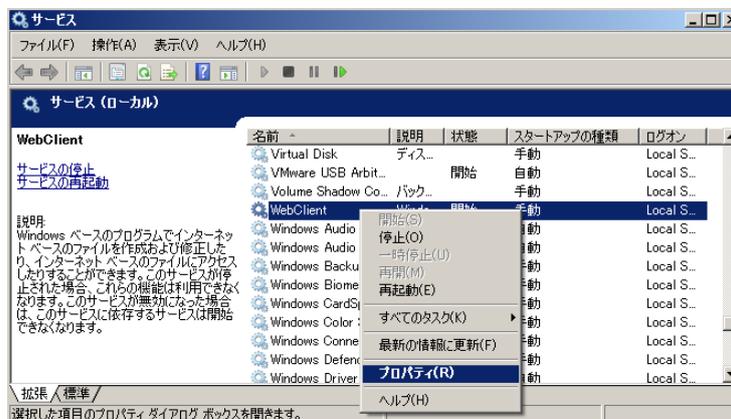
WebClient サービスを選択、右クリックしポップアップ画面の「開始」をクリックします。

状態が「開始」になっていることを確認します。

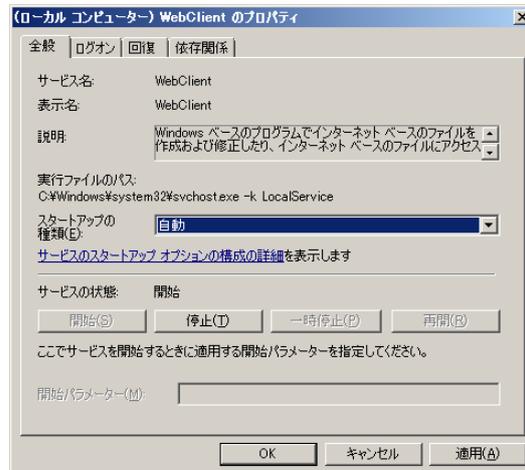


- スタートアップを自動にします。

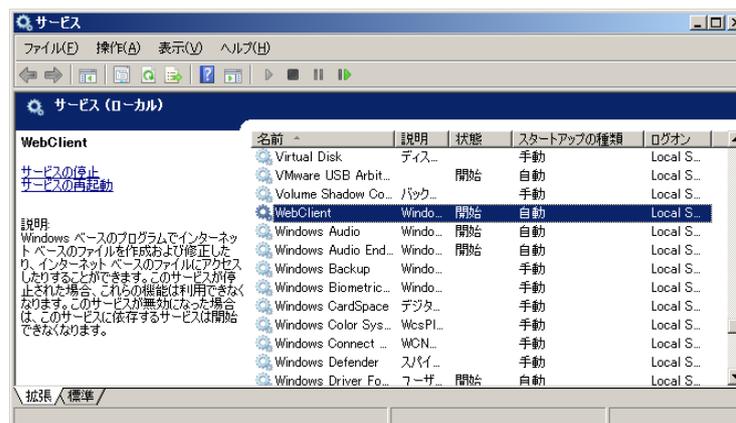
WebClient サービスを選択、右クリックしポップアップ画面の「プロパティ」をクリックします。



「スタートアップの種類」を「自動」に変更し、[OK]をクリックします。



サービス画面の [スタートアップの種類] が [自動] になっていることを確認します。



3-1-6. 同一端末から複数のアカウントを利用する場合の注意点

WebDAV は、HTTP を利用した通信であるため、認証に HTTP Session が利用されたり、情報のキャッシュが行われたりしています。

FOBAS CSC の仕様として、同一端末から同時に複数のアカウントでの接続はできません。アカウントを切り替えて接続する場合には、必ずクライアントマシンを再起動し、セッションおよびキャッシュをクリアしてからテストを行うようにしてください。

対策 A

SSL ルート証明書が古いか、システム時計が正しくない可能性が高いため、Windows Update で最新の OS アップデート（ルート証明書の更新を含む）を実施し、システム時計が正しい事を確認してください。また、FOBAS CSC が自動生成する SSL サーバ証明書を利用している場合は、FOBAS CSC が発行する

ルート証明書を、利用されるクライアントの信頼されたセキュリティストアに格納してください。

対策 B

パスワードの再設定を行います。Web 画面から案内に従ってパスワードの再設定を行ってください。メールアドレスが登録されていない場合は、システム管理者に連絡をしてリセットを依頼します。

パスワードには、管理用パスワード（Web コントロールパネルへのログイン用）と、WebDAV 用のパスワードがありますので、リセット後、Web コントロールパネルにログインし、適切な管理用パスワードおよび WebDAV パスワードを設定してから利用してください。

上記でも接続ができない場合、ご契約サポートサービスにご連絡ください。

4-1. ファイルコピー時のトラブル

4-1-1. Service Pack の適用

Windows 環境において、WebDAV 利用のファイルサイズ制限の事象報告があります。

下記 URL を参照の上、SP を適用するかレジストリの変更をします。

<http://support.microsoft.com/kb/900900/ja>

4-2. WebDAV ログイン認証時のトラブル

4-1-2. 正しい認証情報を入力してもログインできない場合

1. コントロールパネルにある「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」から「資格情報マネージャー」を開きます。



2. 「汎用資格情報」欄にある当該 WebDAV 名をクリックして、詳細な情報を表示させます。



3. 「資格情報コンテナーから削除」をクリックして記憶された情報を削除します。



4. コンピュータを再起動します。

※再起動後にネットワークドライブをダブルクリックして表示される認証ダイアログで、ユーザ名およびパスワード欄が未入力状態になっていれば正しい状態です。

※もし、ユーザ名欄に登録時に認証に使った名前が表示される場合は、ドライブもしくは資格情報のクリアに失敗していますので、1 から 4 をやりなおしてみてください。必要に応じて、登録したネットワークドライブを切断して、再度、登録するなどして「資格情報コンテナーから削除」を適時実行してください。

ご注意

1. 文書による当社の承諾なしで、本ドキュメントの一部、又は全部をいかなる形でも転載又は複製されることは、
堅くお断り申し上げます。
2. 本ドキュメントに記載しております内容は、事前の告知なく変更されることがあります。
3. FOBAS®、クラウドストレージキャッシュ® は FOBAS コンサルティング株式会社の登録商標です。